

目的

函館駅前・大門地区における居住誘導を進める上で必要となる「賑わいある魅力的なまち」を創出するため、区域内の飲食店や物品販売店舗等のほか、商店街等と連携し歩道や広場等を活用した屋外での日常的な賑わい創出の取組やイベント等の社会実験を実施する。また、実験によって得られるデータを蓄積・分析することにより、歩行者の回遊性向上に向けた取り組みの効果検証を行う。

概要

- 名称：歩行者回遊性向上社会実験業務
- 実施期間：令和4年7月中旬～10月中旬
- 実施場所：社会実験業務実施区域内

考え方

(1) 歩行者の回遊性向上に向けたプロセス

店舗・商店街との連携

駐車場の活用

歩きたくなる街並みの形成

区域内の商店街等と連携し店舗前や歩道・広場等にテラス席や物販コーナーを設置。駐車場の歩道側スペースを活用し、歩いて楽しめる街並みを形成します。

(2) 継続的な賑わい創出のための具体策

店舗・商店街との連携

街路灯等を活用

市民が出かけたくなる街へ

区域内の商店街や（株）中合と連携し、旧棒二森屋仮囲いフェンスや街路灯を活用し、市民が出かけたくなる施策を実施します。

(3) 事業効果検証のために必要なデータ収集・分析

参加店・来街者・地域住民にアンケートを実施。データを分析し事業効果を検証します。

(4) 市民や地域住民に対するPR

ポスターやチラシを作成し、参加店や地域の施設等に掲示・配布します。

テーマ

賑わいある魅力的なまち～車中心の街から人中心の街へ～

駅前オープンテラス

提案事項

(1) 歩行者の回遊性向上に向けたプロセス

歩きたくなる街並みの形成

社会実験業務実施区域内の商店街「函館都心商店街振興組合」「函館朝市協同組合連合会」等と連携し、本業務の参加店を募集します。参加店の店舗前や歩道・広場等にテラス席や物販コーナーを設置する他、駐車場（要調整）の歩道側スペースにキッチンカーが出店し、歩いて楽しめる街並みを形成します。

駅前オープンテラス

区域内の商店街等と連携し参加店を募集。参加店の店舗前や歩道・広場等にテラス席や物販コーナーを設置し、通り全体をオープンカフェのような空間にします。

- 開催 期間：7月中旬～10月中旬
- 開催 場所：社会実験業務実施区域内の参加店舗前等
- 食事 施設：テーブルやイス等は参加店用意、ベンチは運営者が用意し設置

Parking Kitchen

駐車場の歩道側にキッチンカーが出店。賑わいが途切れない、歩いて楽しめる街並みを形成します。

- 開催 期間：7月中旬～10月中旬の土・日・祝日等、計10回程度
- 開催 場所：駐車場の歩道側スペース（要調整）

(2) 継続的な賑わい創出のための具体策

市民が出かけたくなる街へ

区域内の商店街や（株）中合と連携し、旧棒二森屋仮囲いフェンスや開港通り・国道278号沿いの街路灯にアート作品を展示し、まちかどミュージアムを実施します。

まちかどミュージアム Part1

街路灯の周囲にオブジェやフラワーアート等の作品を設置し、街並みに彩りを添えます。作品にエントリー番号と店舗名を記載したプレートを取り付け、人気投票を実施し、話題性を高めます。

- 展示 場所：開港通り・国道278号沿い街路灯設置場所 ●展示 期間：8月上旬（1週間程度）
- 展示作品数：14ヶ所以内（設置可能箇所）
- 人気 投票：応募用紙にエントリー番号等、必要事項を記入の上、キラリス等設置の応募箱に投函

まちかどミュージアム Part2

函館市内の高等学校・大学や絵画・アートの市民団体等に募集チラシを配布して展示作品を募集します。審査の上13作品を選定、シートに印刷して仮囲い壁面に展示し、駅前通りに賑わいを創出します。

- 制作 方法：A3横サイズ作品をスキャンしてシートに印刷 サイズ縦1,200mm×横1,700mm
- 展示 場所：旧棒二森屋跡地仮囲い壁面（国道278号沿い） ●展示 期間：8月上旬～10月中旬
- 展示 作品：絵画・イラスト・書道等 ●展示作品数：13ヶ所以内（設置可能箇所）

(3) 事業効果検証のために必要なデータ収集・分析

- 参加店アンケート：運営事務局配布・回収（キッチンカー出店者含む）
- 来街者・地域住民アンケート：参加店利用時、街路灯アート作品人気投票参加時に記入
キラリス等設置の応募箱へ投函または運営事務局へ郵送
運営事務局でアンケートを集計しデータを分析。事業効果検証を報告書に記載し提出します。

(4) 市民や地域住民に対するPR

- ポスターやチラシを作成し、参加店や地域の施設等に掲示・配布します。